

## 経営改善目標（目標期間：令和 5 年度～令和 8 年度）

（法人名） 神奈川県道路公社

### 1 法人の使命・担うべき役割

神奈川県の区域及びその周辺の地域において、有料道路事業を総合的かつ効率的に行うことにより交通の円滑化を図るとともに、駐車場事業における地元市町との連携した取組を通じ、地域の産業経済の発展に寄与していくこと。

### 2 県が法人に期待する役割

本県の道路交通政策推進の一翼を担う法人として、総合的かつ効率的な有料道路事業の実施による交通の円滑化を図るとともに、駐車場事業における地元市町との連携した取組を通じ、地域の産業経済発展に寄与していくことが期待される。

### 3 法人運営における現状の課題

#### ① 計画的な道路施設等の維持修繕への対応

橋梁・トンネル等の道路施設の老朽化が問題視されたことで、トンネルや道路橋などを 5 年に 1 回の頻度で点検することが義務化され、計画時点では想定していなかった新たな費用負担が生じている。

このため、定期点検による状態把握及び予防的な修繕を着実に進め、道路施設の長寿命化と修繕に係る費用の縮減を図ることで、道路の安全性・信頼性を確保していく。

#### ② 「ワンストップ型 ETC」の順次導入

「ワンストップ型 ETC」では、機器構成が「通常 ETC」に比べ大幅に削減されるため、導入費用は約 4 分の 1 程度に抑えられ、当公社においても導入が可能なものとなった。

現在、国が目標を掲げてキャッシュレス化を進めており、神奈川県でもキャッシュレス宣言をしていること、さらに、利用者と料金收受員との非接触により感染症対策になること、以上の理由から、ワンストップ型 ETC を公社が管理する全ての道路に順次導入していく。

#### ③ 経営基盤の強化

今後の少子高齢化の進展やコロナ禍の影響、管理路線の減少等に伴う収入減の中においても、自然災害等の不測事態にも対応できる経営基盤の強化を図る。

### 4 経営改善目標

#### 【県民サービスの向上等】

総括的目標：① 安全・安心を確保する計画的な維持修繕工事の実施（単位：百万円）

令和 4 年度 実績(見込)	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
684	573	801	822	774
目標項目の選定理由 (達成により生じる効果)	道路施設等の適正な管理に向けた計画の策定・推進 (長寿命化によるライフサイクルコストの縮減と、安全・安心な道路サービスを提供できる。)			
目標値の設定根拠	今後必要となる設備更新等の維持修繕費用を試算した。			

総括的目標：② ワンストップ型E T Cの順次導入

ワンストップ型E T Cの導入予定と必要となる費用

(単位：百万円)

対象路線	令和4年度 実績(見込)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
三浦縦貫道路	社会実験	本格運用	運用中	運用中	運用中
真鶴道路	同上	同上	同上	同上	同上
逗葉新道	—	社会実験/ 本格運用	同上	同上	同上
社会実験費用	63	32	—	—	—
設置費用	551	275	—	—	—
運用費用	—	126	156	156	156
回数券廃止等	—	△13	△18	△18	△18
目標項目の選定理由 (達成により生じる効果)	利用者の利便性の向上 (キャッシュレス化の促進)				
目標値の設定根拠	順次設置する道路の導入費用及び運用費用を試算した。				

【収支健全化に向けた経営改善】

総括的目標：③ 経営基盤の強化

有料道路通行料金収入

(単位：百万円)

令和4年度 実績(見込)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1,634	1,631	1,629	1,622	1,616
目標項目の選定理由 (達成により生じる効果)	公社の主たる事業収入であるため。 (地域交通の円滑化に貢献する。)			
目標値の設定根拠	これまでの収入実績と1路線減の影響、今後のインバウンド需要の回復予想等を勘案し、通行台数の漸減傾向に対し、地域と連携した利用促進等を進めることにより、減少幅を少なくする事で目標値を設定した。			

駐車場料金収入

(単位：百万円)

令和4年度 実績(見込)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
284	292	296	296	296
目標項目の選定理由 (達成により生じる効果)	公社の有料道路事業に次ぐ収入であるため。 (利用台数の増加に伴い、地域の産業経済の発展に寄与する。)			
目標値の設定根拠	これまでの収入実績とインバウンド需要の回復予想等を勘案し、地域と連携した利用促進等を進めることにより目標値を設定した。			

※ 駐車場の運営については、土地使用料の減額措置の見直しとなった場合はもとより、費用対効果を再検討し整理できる箇所を含めて経費の削減に努めていく必要がある。

年度末資金残額（中期経営計画）

（単位：百万円）

令和4年度実績(見込)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
870	824	867	878	901
目標項目の選定理由 (達成により生じる効果)	自然災害等の不測事態にも対応できる経営基盤の強化を図る。(維持修繕等が計画的に実施できる。)			
目標値の設定根拠	今後想定される通行料金等の収入と必要となる維持修繕工事や有料道路を運営していく業務管理費等の支出を勘案し、設定した。			

収支見込（将来収支予測）

（単位：百万円）

区分		令和4年度実績(見込)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入	道路・駐車場料金	1,917	1,923	1,925	1,918	1,912
	その他	699	326	50	50	50
	計※	2,616	2,249	1,975	1,968	1,962
支出	維持改良費	1,298	880	801	822	774
	管理費等	1,080	1,142	1,131	1,135	1,165
	償還元利金	0	0	0	0	0
	計※	2,378	2,022	1,932	1,957	1,939
収支差		238	227	43	11	23
現預金期首残高		632	870	1,097	1,140	1,151
現預金期末残高見込		870	1,097	1,140	1,151	1,174
(中期経営計画 ／年度末資金残)		(597)	(824)	(867)	(878)	(901)

※ 端数整理のため収支予算と一致しない。

※ 現預金期末残高見込は、令和3年度決算による現預金残高を反映しているため、中期経営計画と一致しない。

\* 今後の県からの財政的支援（または損失補償残高）の見込み

（単位：百万円）

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
0	0	0	0	0

5 その他特記事項